

科目名	成果発表							年度	2026
英語科目名	Senior Presentation							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	小松雅樹・石川和希	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム、スポーツ用品メーカー		
<b>【科目の目的】</b> 在学中に取り組んだプロジェクトや実習経験を発表して、その成果や学びを共有することを目的とする。学習成果の発表を通して、在学中の学習達成度や改善点を確認しながら自分自身の学習評価に繋げる。									
<b>【科目の概要】</b> 卒業展示会に向けた成果発表のための資料展示および発表準備を実施する。自分自身の専門分野や関心領域について専門知識や技術力をデモンストレーションし、聴衆や企業に対して在学中に習得した知識やスキルを実践的な形で展示する。									
<b>【到達目標】</b> 3年間で習得した知識・技術について、動画作成やパワーポイント資料を活用して、学習成果のプレゼンテーションを行うことを目的とします。学習成果を相手に分かりやすく伝えるために様々なアイデアを駆使して、効果的なプレゼンテーションが出来ることを目指します。 到達目標 A: 在学中の学習結果やプロジェクト成果の公表を通して、自身の成果を他者に伝える能力を養う。 到達目標 B: 聴衆や企業からの評価を受取り、これまでの学習の過程や成果を振り返り自身の学習評価の機会として役立つ。 到達目標 C: 成果発表を自身の興味や能力を確認する機会として活用し、自分の強みや興味を再確認しながら将来の進路やキャリア展望を検討する。									
<b>【授業の注意点】</b> ・遅刻、欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻、欠席は成績評価に影響するため注意してください。・授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は、授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。・授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	成果発表を通じて、自身の成果を他者に伝える能力を養い、成長した点や改善の余地を自己評価することが出来る。		在学中の学習結果やプロジェクト成果を共有することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	習得した知識やスキルを実践的な形で展示しながら、これまでの学習の過程や成果を振り返り自身の学習評価の機会として役立つことが出来る。		習得した知識やスキルを実践的な形で展示することが出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	成果発表から得た第三者からのフィードバックを、自分のプレゼンテーションスキルや学習成果を改善するための貴重な情報源として自己啓発に繋げることが出来る。		成果発表を自身の興味や能力を確認する機会として活用し、自分の強みや興味を再確認しながら将来の進路やキャリア展望を検討出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		成果発表			年度	2026
英語表記		Senior Presentation			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	授業目的の説明と担当グループ分け	1 成果発表の目的	学習成果における自己評価と発表ポイントの整理	2	
			2 成果発表内容の設定	具体的なデモンストレーション方法の選定		
			3 作業工程の設定	計画的な発表資料作成スケジュールの設定		
2	展示資料の集約と発表内容の具体的検討	展示資料・作品の準備	1 学習成果の整理	学習成果内容の収集と選択	2	
			2 展示方法の選定	展示方法の検討と展示準備		
			3 展示資料の作成	展示に向けた資料作成		
3	展示資料の集約と発表内容の具体的検討	展示資料・作品の準備	1 学習成果の整理	学習成果内容の収集と選択	2	
			2 展示方法の選定	展示方法の検討と展示準備		
			3 展示資料の作成	展示に向けた資料作成		
4	展示資料の集約と発表内容の具体的検討	展示資料・作品の準備	1 学習成果の整理	学習成果内容の収集と選択	2	
			2 展示方法の選定	展示方法の検討と展示準備		
			3 展示資料の作成	展示に向けた資料作成		
5	展示資料・作品作成	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	展示に向けた資料作成	2	
6	展示資料・作品作成	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	展示に向けた資料作成	2	
7	展示資料・作品作成	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	展示に向けた資料作成	2	
8	展示資料・作品作成	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	展示に向けた資料作成	2	
9	展示資料・作品の中間確認	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	準備資料・作品のクラス内評価と改善点の抽出	2	
10	展示資料・作品の最終調整	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	展示に向けた資料作成（最終調整）	2	
11	展示資料・作品の最終調整	展示資料・作品の準備	1 展示資料の作成作業	展示に向けた資料作成（最終調整）	2	
12	展示準備	完成資料・作品の展示作業	1 展示準備作業	展示資料・作品の完成後提出	2	
13	展示	展示活動	1 展示・会場対応	展示会場での来場者とのコミュニケーション	2	
			2 フィードバックと自己評価	来場者からのフィードバックに基づく自己評価		
			3 展示の限界点と改善点の理解	展示成果に対する改善点の明確化		
14	展示	展示活動	1 展示・会場対応	展示会場での来場者とのコミュニケーション	2	
			2 フィードバックと自己評価	来場者からのフィードバックに基づく自己評価		
			3 展示の限界点と改善点の理解	展示成果に対する改善点の明確化		
15	展示	展示活動	1 展示・会場対応	展示会場での来場者とのコミュニケーション	2	
			2 フィードバックと自己評価	来場者からのフィードバックに基づく自己評価		
			3 展示の限界点と改善点の理解	展示成果に対する改善点の明確化		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等